

区長 山口照美の でるでるだより



NO.23

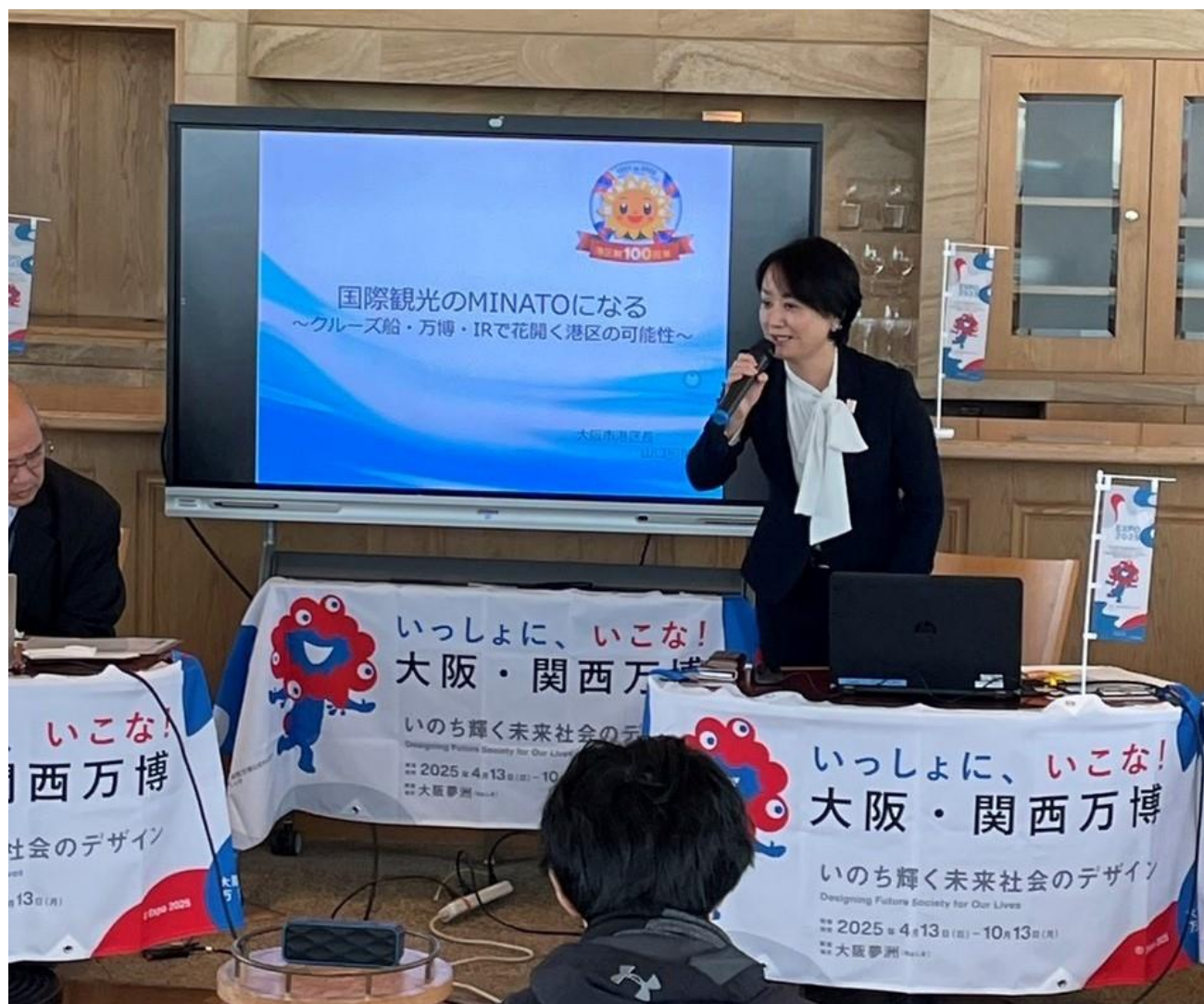
港区の人口は、昨年一時的にはプラスになりましたが、中長期的には減少傾向であり、全国的にも年少人口はコロナ禍での出産数減も相まって、減少ペースは加速していきます。

区長となって2年近く、1学年15人前後となっている中学校の状況や新入生が10名を切る小学校が出る状況の中、学校や保護者・地域のみなさんと対話を重ね「港区西部地域学校再編整備計画」を策定しました。今のそれぞれの学校が充実した教育を行えるようにサポートしつつ、将来的な教員不足も見据えて計画を立て、学校跡地を防災などに活用する協議と並行して新しい学校づくりに努めます。

同時に、大阪港駅のそばにある大阪みなと中央病院跡地の解体工事も始まります。解体だけで3年超かかりますが、子育て世代が住みたくなる集合住宅の誘致に努め、八幡屋エリアの市営住宅跡地の活性化や保育環境の充実、まちのイメージアップ等と合わせて「住みたい・住み続けたい港区」をめざして取り組んでいきます。

また、港区の人口減少を食い止めたのは外国人の転入数の増加です。60ヶ国を超える外国人と共に暮らす多文化共生のまちとしても「未来と世界にひらくまち・港区」らしく発展をしていくよう区民の

みなさんと考えていきたいです。



りそな銀行・(一社)港産業会と一緒に「万博セミナー」を開催しています。3回目はクルーズ船受け入れのまちづくりについて意見交換しました。



▲まちづくりセミナーのQRコード